

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年8月10日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青野慶久
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目7番1号
【電話番号】	03-4306-0808
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中根弓佳
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目7番1号
【電話番号】	03-4306-0808
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中根弓佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第20期 第2四半期連結 累計期間	第21期 第2四半期連結 累計期間	第20期
会計期間		自 平成28年 1月1日 至 平成28年 6月30日	自 平成29年 1月1日 至 平成29年 6月30日	自 平成28年 1月1日 至 平成28年 12月31日
売上高	(百万円)	4,012	4,613	8,039
経常利益	(百万円)	600	848	587
親会社株主に帰属する四 半期(当期)純利益	(百万円)	381	464	305
四半期包括利益又は包括 利益	(百万円)	298	465	252
純資産額	(百万円)	3,219	3,233	3,173
総資産額	(百万円)	5,797	6,323	6,352
1株当たり四半期(当 期)純利益	(円)	8.31	10.13	6.67
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	55.5	51.1	50.0
営業活動によるキャッ シュ・フロー	(百万円)	62	229	811
投資活動によるキャッ シュ・フロー	(百万円)	347	717	559
財務活動によるキャッ シュ・フロー	(百万円)	186	153	270
現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高	(百万円)	1,876	1,691	2,347

回次		第20期 第2四半期連結会計期間	第21期 第2四半期連結会計期間
会計期間		自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	2.63	1.89

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

2017年11月に提供を開始したクラウドサービス「cybozu.com」は、ご利用いただいている契約社数が20,000社を突破いたしました。また、2017年4月より全国の地方自治体を相互に接続するLGWAN（総合行政ネットワーク）を経由して利用できるグループウェア「サイボウズ ガルーン for LGWAN」を提供開始しました。引き続き、「cybozu.com」サービスの安定運用を継続し信頼度をさらに高めるとともに、未導入層・地方向けプロモーション強化に努め、新規顧客の開拓を進めてまいります。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が積み上がり、売上高は4,613百万円（前年同期比15.0%増）となりました。このうちクラウド関連事業の売上高は2,615百万円（前年同期比42.4%増）となっておりません。利益項目については、前年同期に比べ従業員数の増加等による人件費の増加や松山オフィス移転（2017年4月開所）に伴う消耗品費等の増加があったものの、営業利益は851百万円（前年同期比45.3%増）、経常利益は848百万円（前年同期比41.3%増）となりました。また、法人税等計上後の親会社株主に帰属する四半期純利益については464百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

クラウド関連事業の売上高につきましては、日本と海外で集計方法が異なることなどから、会計上の売上高とは一致しておりません。

(2) 財政状態

資産の部については、サーバーの取得及び松山オフィス移転（2017年4月開所）に伴い有形固定資産が増加したものの、前期に計上した広告宣伝費や賞与の未払金及び配当金の支払を行い、現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、6,323百万円となりました。

負債の部については、借入を行った一方で、前期に計上した広告宣伝費や賞与の未払金の支払を行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ89百万円減少し、3,089百万円となりました。

純資産の部については、当第2四半期連結累計期間に464百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、また、405百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、3,233百万円となり、自己資本比率は51.1%となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末より184百万円減少し、1,691百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は、229百万円（前年同四半期は62百万円の収入）となりました。前期に計上した広告宣伝費や賞与等の支払があったことにより未払金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益を821百万円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出された資金は、717百万円（前年同四半期は347百万円の支出）となりました。これは主にクラウドサービス投資の一環としてサーバーを取得したことや松山オフィス移転（2017年4月開所）に伴い工具器具備品等の有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出された資金は、153百万円（前年同四半期は186百万円の支出）となりました。これは主に借入による収入があった一方で、配当金の支払いによる支出があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は132百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
計	193,428,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日	-	52,757,800	-	613	-	976

(6) 【大株主の状況】

平成29年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
畑 慎 也	東京都文京区	8,679,600	16.45
C b z サポーターズ株式会社	東京都中央区日本橋2丁目7番1号	8,029,300	15.21
サイボウズ従業員持株会	東京都中央区日本橋2丁目7番1号	2,432,100	4.61
山 田 理	東京都文京区	1,886,900	3.57
中 野 博 久	京都府京都市左京区	1,530,000	2.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目-8-11	1,218,300	2.30
株式会社ブライツ	兵庫県芦屋市松ノ内町6-6	1,000,000	1.89
西 端 慶 久 (青 野 慶 久)	東京都文京区	787,500	1.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	719,800	1.36
田 畑 正 吾	兵庫県芦屋市	642,500	1.21
計	-	26,926,000	51.03

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)は、全て信託業務に係る株式であります。
2. 上記のほか、自己株式が6,879,435株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,879,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,876,900	458,769	-
単元未満株式	普通株式 1,500	-	-
発行済株式総数	52,757,800	-	-
総株主の議決権	-	458,769	-

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式35株を含んでおります。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都中央区日本橋2丁目 7番1号	6,879,400	-	6,879,400	13.04
計	-	6,879,400	-	6,879,400	13.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,347	1,691
受取手形及び売掛金	1,218	1,400
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	26	23
前払費用	181	226
繰延税金資産	106	58
その他	58	34
貸倒引当金	1	2
流動資産合計	3,939	3,432
固定資産		
有形固定資産		
建物	509	729
減価償却累計額	109	120
建物(純額)	400	608
工具、器具及び備品	1,656	2,135
減価償却累計額	1,008	1,200
工具、器具及び備品(純額)	647	935
有形固定資産合計	1,048	1,543
無形固定資産		
ソフトウェア	79	74
ソフトウェア仮勘定	12	36
その他	11	11
無形固定資産合計	102	122
投資その他の資産		
投資有価証券	130	138
敷金及び保証金	670	649
破産更生債権等	0	0
繰延税金資産	444	427
その他	17	7
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	1,262	1,223
固定資産合計	2,413	2,890
資産合計	6,352	6,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6	3
短期借入金	-	250
未払金	786	371
未払費用	590	375
未払法人税等	270	307
前受金	1,306	1,602
役員賞与引当金	4	1
その他	214	112
流動負債合計	3,179	3,022
固定負債		
資産除去債務	-	66
固定負債合計	-	66
負債合計	3,179	3,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	613	613
資本剰余金	976	976
利益剰余金	3,301	3,361
自己株式	1,799	1,799
株主資本合計	3,092	3,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	17
為替換算調整勘定	65	64
その他の包括利益累計額合計	80	81
純資産合計	3,173	3,233
負債純資産合計	6,352	6,323

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	4,012	4,613
売上原価	240	311
売上総利益	3,772	4,302
販売費及び一般管理費		
人件費	1,297	1,539
業務委託費	260	294
貸倒引当金繰入額	0	0
広告宣伝費	617	505
その他	1,010	1,110
販売費及び一般管理費合計	3,186	3,450
営業利益	586	851
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	0	-
還付消費税等	0	0
為替差益	16	-
未払配当金除斥益	1	1
投資事業組合運用益	-	4
その他	1	3
営業外収益合計	21	11
営業外費用		
支払利息	2	1
持分法による投資損失	4	-
投資事業組合運用損	-	0
為替差損	-	12
その他	0	0
営業外費用合計	6	14
経常利益	600	848
特別利益		
投資有価証券売却益	5	-
固定資産受贈益	8	-
特別利益合計	13	-
特別損失		
減損損失	-	1
固定資産除売却損	0	8
事務所移転費用	-	16
特別損失合計	0	26
税金等調整前四半期純利益	614	821
法人税、住民税及び事業税	121	293
法人税等調整額	111	63
法人税等合計	233	357
四半期純利益	381	464
親会社株主に帰属する四半期純利益	381	464

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	381	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	83	0
その他の包括利益合計	82	1
四半期包括利益	298	465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298	465

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	614	821
減価償却費	225	266
固定資産除売却損益(は益)	0	8
持分法による投資損益(は益)	4	-
投資有価証券売却損益(は益)	5	-
投資事業組合運用損益(は益)	-	4
減損損失	-	1
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	0	0
支払利息	2	1
売上債権の増減額(は増加)	198	183
たな卸資産の増減額(は増加)	0	4
仕入債務の増減額(は減少)	1	2
未払金の増減額(は減少)	545	407
未払費用の増減額(は減少)	248	215
前受金の増減額(は減少)	131	295
その他	42	94
小計	21	491
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	2	1
法人税等の支払額	43	272
法人税等の還付額	86	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	62	229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	320	684
無形固定資産の取得による支出	31	45
投資有価証券の取得による支出	1	2
投資有価証券の売却による収入	5	-
敷金及び保証金の差入による支出	0	1
敷金及び保証金の回収による収入	2	15
その他	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	347	717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	83	250
配当金の支払額	270	403
財務活動によるキャッシュ・フロー	186	153
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	14
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	540	656
現金及び現金同等物の期首残高	2,416	2,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,876	1,691

【注記事項】

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
現金及び預金	1,876百万円	1,691百万円
現金及び現金同等物	1,876	1,691

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月25日 定時株主総会	普通株式	271	5.92	平成27年12月31日	平成28年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月29日 定時株主総会	普通株式	405	8.83	平成28年12月31日	平成29年3月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円31銭	10円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	381	464
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	381	464
普通株式の期中平均株式数(株)	45,878,365	45,878,365

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月10日

サイボウズ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 塚原克哲 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤和充 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。